

平成28年7～9月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成28年7～9月期）の業況判断D Iは (-)63.4 で、前期（平成28年4～6月期）(-61.9)に比べ、1.5ポイントの悪化。

② 来期の見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しD Iは (-)58.8 で、今期の業況判断(-63.4)に比べ、4.6ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —



表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

	平成27年		28年			
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	4.0	4.2	3.6	3.4	3.1	2.9
普通/不変	30.4	33.5	30.1	31.3	30.4	35.4
悪い/悪化	65.5	62.3	66.4	65.3	66.5	61.7
D I	-61.5	-58.1	-62.8	-61.9	-63.4	-58.8

参考	日銀短観(大企業全産業計)		中小企業景況調査(全産業計)			
	19	18	13	12	12	11
	-24.7	-22.9	-29.0	-27.0	-27.0	-16.3

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成28年10月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	209万2000円で、前年同期に比べ、9.4%の減少
□「卸売業、小売業」は	363万8000円で、前年同期に比べ、0.8%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	210万7000円で、前年同期に比べ、4.4%の減少
□「サービス業」は	113万9000円で、前年同期に比べ、6.3%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	58万円で、前年同期に比べ、14.1%の減少
□「卸売業、小売業」は	38万8000円で、前年同期に比べ、6.0%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	41万8000円で、前年同期に比べ、13.6%の増加
□「サービス業」は	42万7000円で、前年同期に比べ、4.3%の減少

※前年同期(平成27年7～9月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業			
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
実数 (千円)	平成26年	7～9月期	2,314	626	4,146	370	2,168	420	1,230	433	
		10～12月期	2,444	658	4,384	511	2,150	422	1,301	480	
	平成27年	1～3月期	2,182	595	3,601	394	2,042	373	1,227	395	
		4～6月期	2,466	673	3,729	428	2,148	365	1,327	469	
	平成28年	7～9月期	2,310	675	3,609	366	2,203	368	1,215	446	
		10～12月期	2,379	644	4,065	484	2,312	470	1,285	471	
	前年同期比 (%)	平成26年	7～9月期	9.2	-3.8	4.5	-17.0	0.5	-3.0	-3.5	-0.9
			10～12月期	-1.2	-2.7	0.2	15.9	-4.4	3.9	2.1	7.1
	平成27年	1～3月期	-4.8	-9.0	-10.1	-14.9	1.2	9.4	11.3	12.2	
		4～6月期	15.7	9.8	-6.3	-0.7	-0.3	-9.2	9.7	2.9	
平成28年	7～9月期	-0.2	7.8	-13.0	-1.1	1.6	-12.4	-1.2	3.0		
	10～12月期	-2.7	-2.1	-7.3	-5.3	7.5	11.4	-1.2	-1.9		
平成28年	1～3月期	5.1	15.1	-1.0	-10.4	10.3	12.1	-7.6	-4.1		
	4～6月期	-12.2	-8.9	-1.9	-22.9	-3.0	0.3	-12.9	-10.2		
		7～9月期	-9.4	-14.1	0.8	6.0	-4.4	13.6	-6.3	-4.3	

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	16万9000円で、前年同期(13万5000円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	5万6000円で、前年同期(8万6000円)に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	17万7000円で、前年同期(15万9000円)に比べ、増加
□「サービス業」は	3万6000円で、前年同期(5万7000円)に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	8.1%で、前年同期(5.8%)に比べ、2.3ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	1.5%で、前年同期(2.4%)に比べ、0.9ポイントの低下
□「宿泊業、飲食サービス業」は	8.4%で、前年同期(7.2%)に比べ、1.2ポイントの上昇
□「サービス業」は	3.2%で、前年同期(4.7%)に比べ、1.5ポイントの低下

※前年同期(平成27年7～9月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成26年	7～9月期	104	4.5	85	2.1	77	3.6	40	3.3
	10～12月期	78	3.2	89	2.0	118	5.5	43	3.3
平成27年	1～3月期	111	5.1	109	3.0	47	2.3	37	3.0
	4～6月期	148	6.0	79	2.1	82	3.8	47	3.5
平成28年	7～9月期	135	5.8	86	2.4	159	7.2	57	4.7
	10～12月期	93	3.9	81	2.0	62	2.7	71	5.5
平成28年	1～3月期	70	3.1	53	1.5	55	2.4	72	6.3
	4～6月期	53	2.4	74	2.0	66	3.2	50	4.3
	7～9月期	169	8.1	56	1.5	177	8.4	36	3.2

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断D Iは（-）63.4で、前期（平成28年4～6月期）（-61.9）に比べ、1.5ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）50.9で、前期（-46.1）に比べ、4.8ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断D Iは（-）55.6で、前期（-56.0）に比べ、0.4ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しD Iは（-）58.8で、今期の業況判断（-63.4）に比べ、4.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

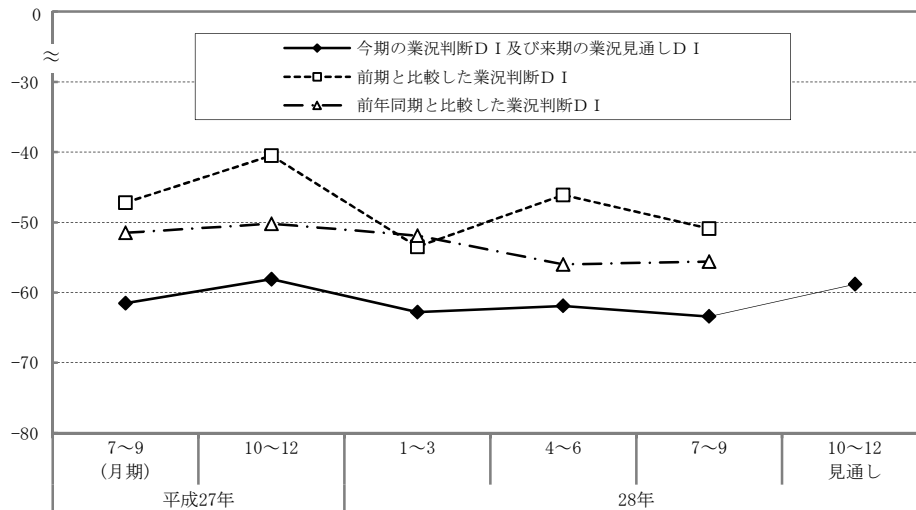
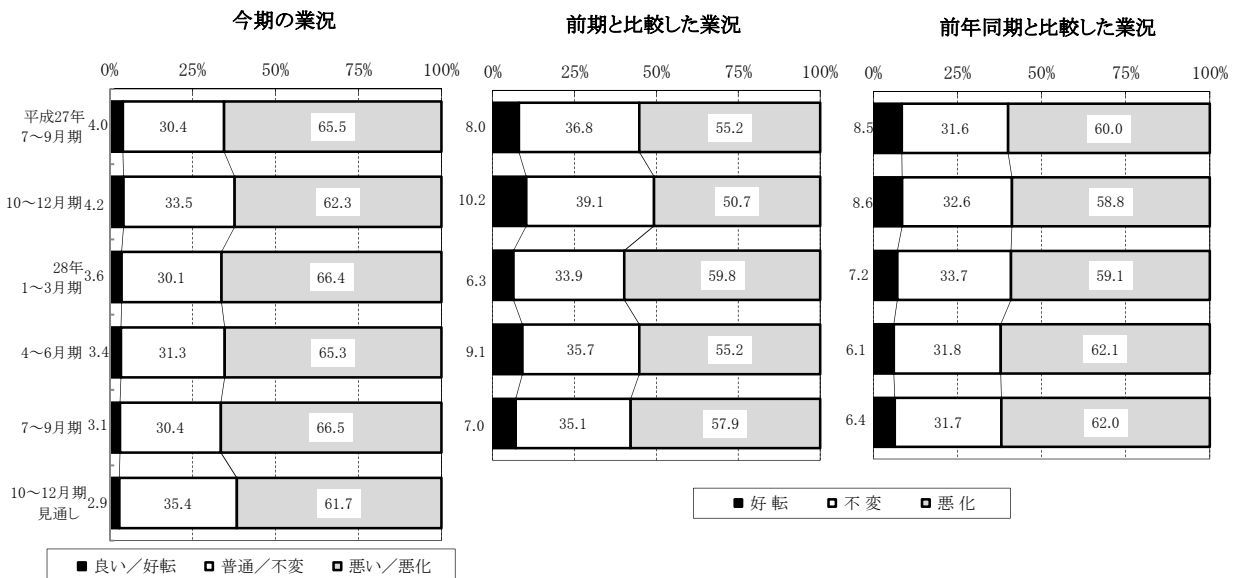


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

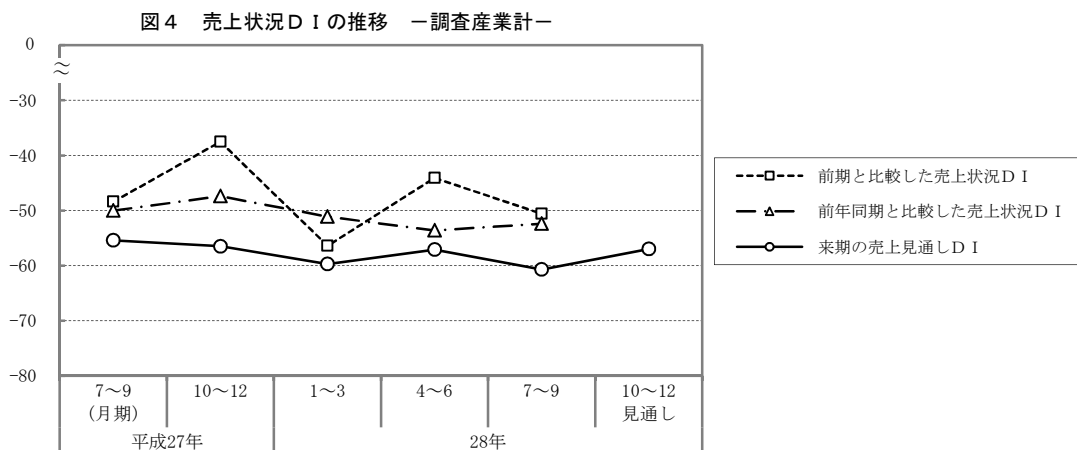
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)50.6 で、前期 (-44.1) に比べ、6.5 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)52.4 で、前期 (-53.6) に比べ、1.2 ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)57.0 で、前期における今期の売上見通し (-60.7) に比べ、3.7 ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

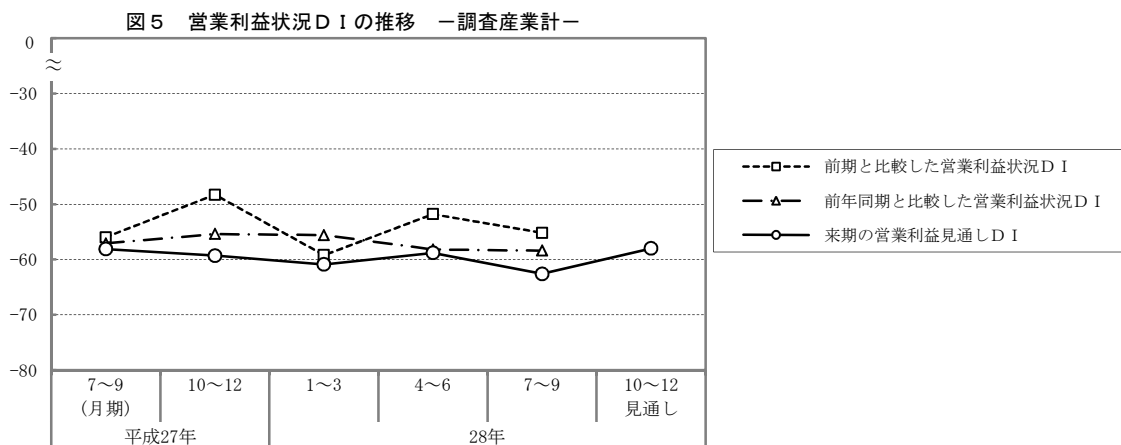
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)55.2 で、前期 (-51.8) に比べ、3.4 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)58.4 で、前期 (-58.2) に比べ、0.2 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

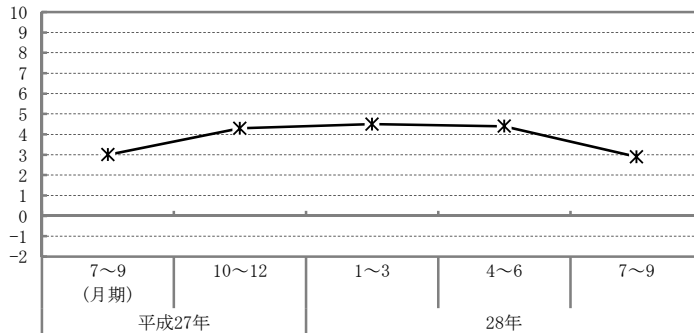
来期の営業利益見通しDIは (-)58.0 で、前期における今期の営業利益見通し (-62.6) に比べ、4.6 ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.9 で、前期 (+4.4) に比べ、1.5 ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

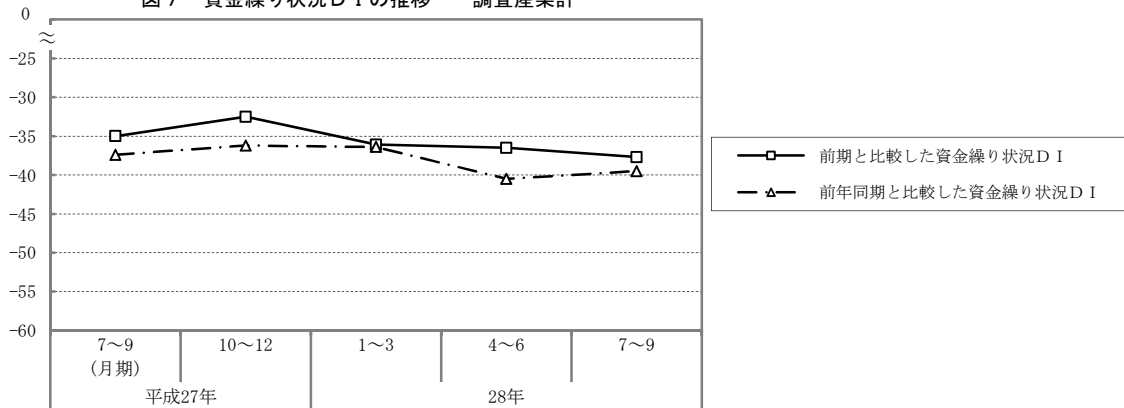


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.7 で、前期 (-36.5) に比べ、1.2 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.5 で、前期 (-40.5) に比べ、1.0 ポイント改善した。

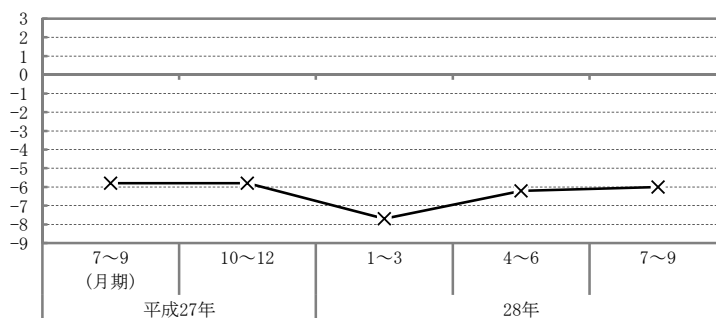
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.0 で、前期 (-6.2) に比べ、0.2 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは(-)59.5で、前期（平成28年4～6月期）(-54.2)に比べ、5.3ポイント悪化した。

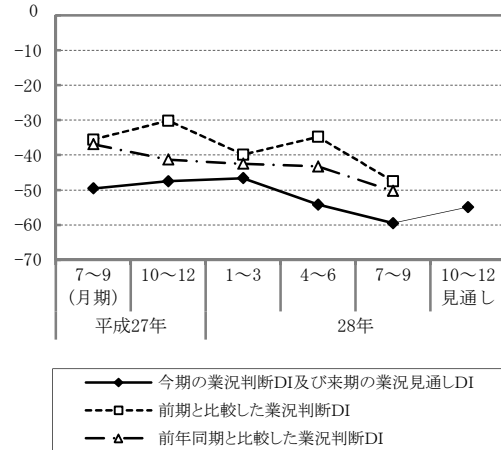
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)47.5で、前期(-34.8)に比べ、12.7ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)50.3で、前期(-43.3)に比べ、7.0ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは(-)54.9で、今期の業況判断(-59.5)から、4.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

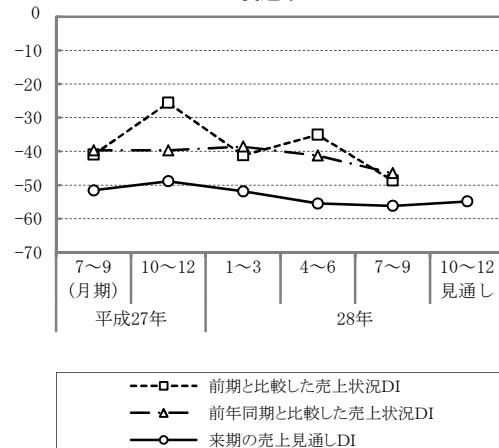
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)48.7で、前期(-35.1)に比べ、13.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)46.5で、前期(-41.3)に比べ、5.2ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)54.9で、前期における今期の売上見通し(-56.2)から、1.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

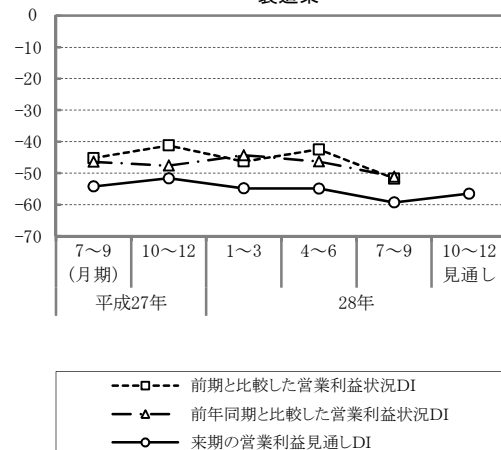
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)51.7で、前期(-42.5)に比べ、9.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)51.1で、前期(-46.3)に比べ、4.8ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)56.5で、前期における今期の営業利益見通し(-59.3)に比べ、2.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.0 で、前期 (+5.7) に比べ、2.7 ポイントト「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)32.2 で、前期 (-28.6) に比べ、3.6 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.3 で、前期 (-33.5) に比べ、0.8 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)3.6 で、前期 (-5.2) に比べ、1.6 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

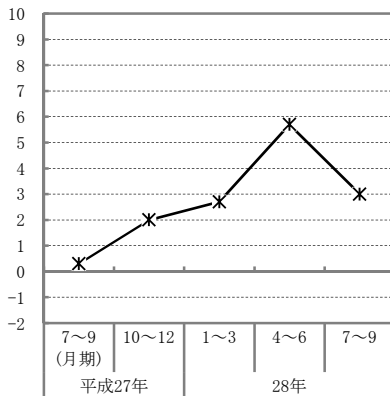


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

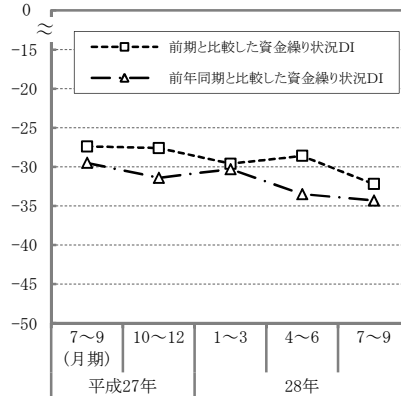
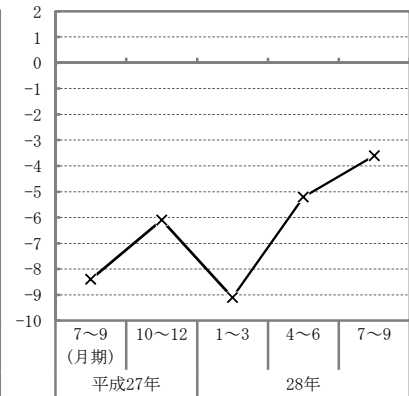


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業、小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは (-)64.8 で、前期（平成28年4～6月期）(-65.7) に比べ、0.9 ポイント改善した。

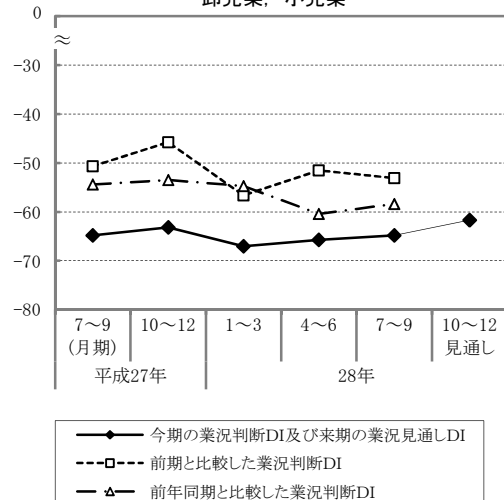
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)53.1 で、前期 (-51.5) に比べ、1.6 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは (-)58.4 で、前期 (-60.4) に比べ、2.0 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは (-)61.7 で、今期の業況判断(-64.8) に比べ、3.1 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業、小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

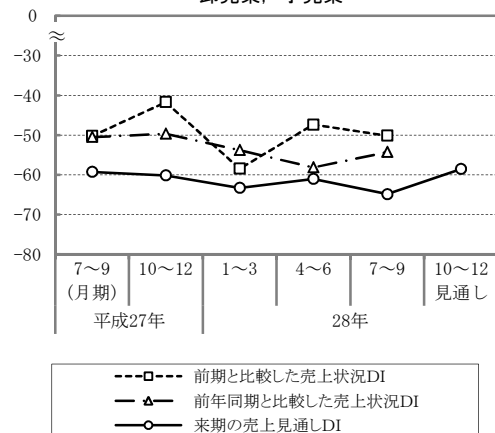
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)50.2で、前期(-47.4)に比べ、2.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)54.3で、前期(-58.2)に比べ、3.9ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)58.6で、前期における今期の売上見通し(-64.9)に比べ、6.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

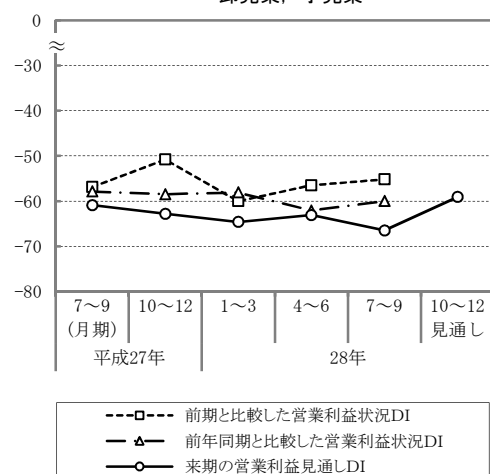
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)55.2で、前期(-56.5)に比べ、1.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)60.0で、前期(-62.1)に比べ、2.1ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)59.1で、前期における今期の営業利益見通し(-66.5)に比べ、7.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)4.5で、前期(+6.5)に比べ、2.0ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)38.6で、前期(-39.5)に比べ、0.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.6で、前期(-43.1)に比べ、3.5ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.5で、前期(-5.6)に比べ、0.1ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

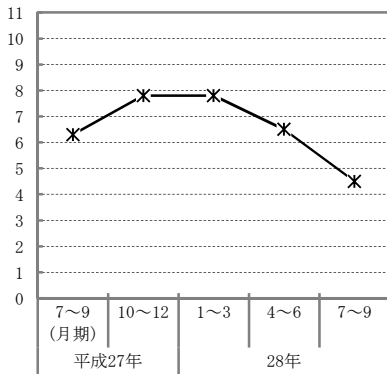


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

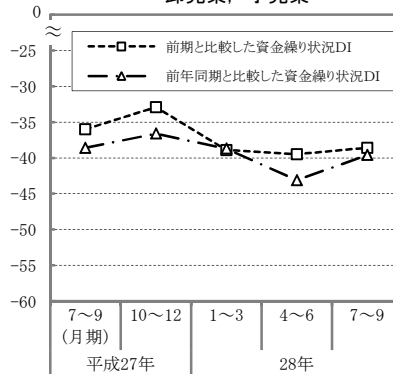
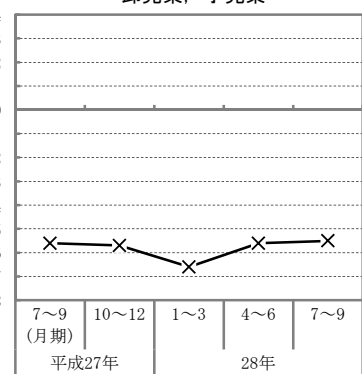


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



4 宿泊業、飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは(-)59.2で、前期（平成28年4～6月期）(-60.1)に比べ、0.9ポイント改善した。

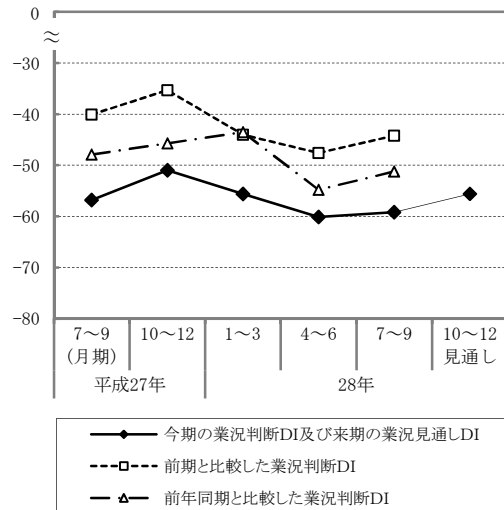
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)44.2で、前期(-47.6)に比べ、3.4ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)51.2で、前期(-54.8)に比べ、3.6ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは(-)55.6で、今期の業況判断(-59.2)に比べ、3.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

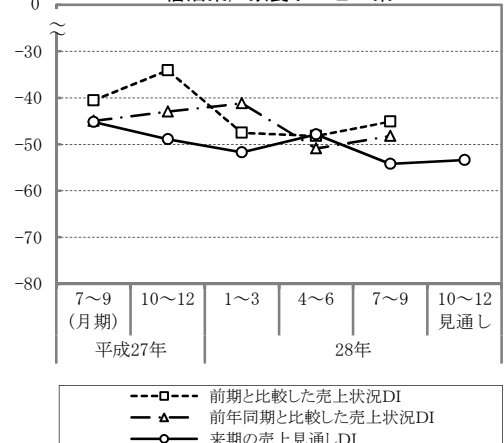
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)45.1で、前期(-48.2)に比べ、3.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)48.2で、前期(-50.9)に比べ、2.7ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)53.4で、前期における今期の売上見通し(-54.2)に比べ、0.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

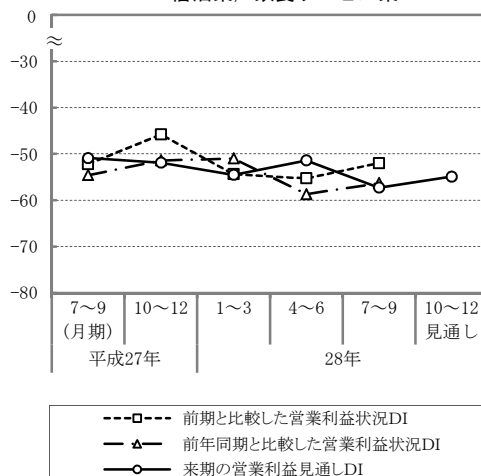
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)52.0で、前期(-55.3)に比べ、3.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)56.3で、前期(-58.7)に比べ、2.4ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.9で、前期における今期の営業利益見通し(-57.3)に比べ、2.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(-)0.6で、前期(+1.3)に比べ、1.9ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.3で、前期(-40.2)に比べ、0.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)42.6で、前期(-43.3)に比べ、0.7ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)7.1で、前期(-10.0)に比べ、2.9ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

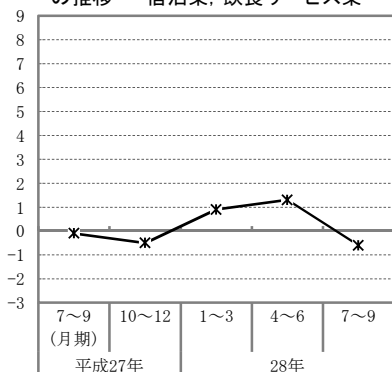


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

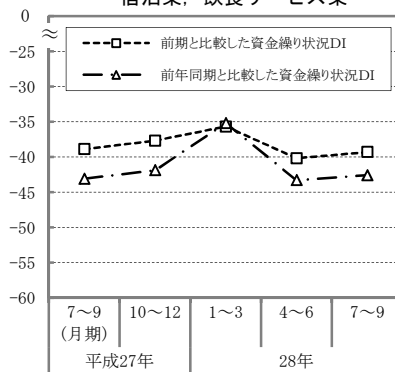
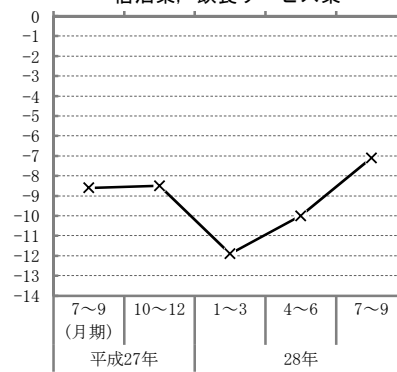


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは(-)66.5で、前期（平成28年4～6月期）(-60.8)に比べ、5.7ポイント悪化した。

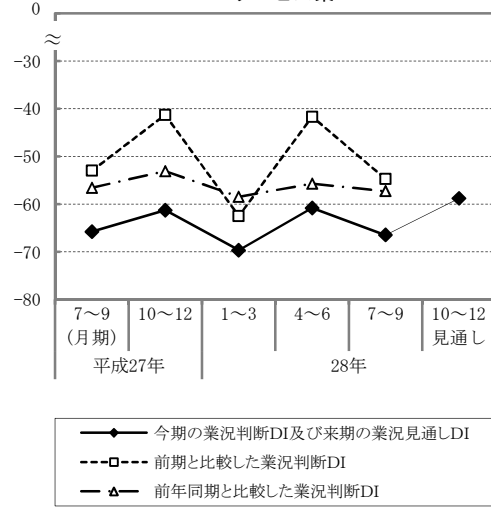
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)54.7で、前期(-41.7)に比べ、13.0ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)57.3で、前期(-55.7)に比べ、1.6ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは(-)58.8で、今期の業況判断(-66.5)に比べ、7.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

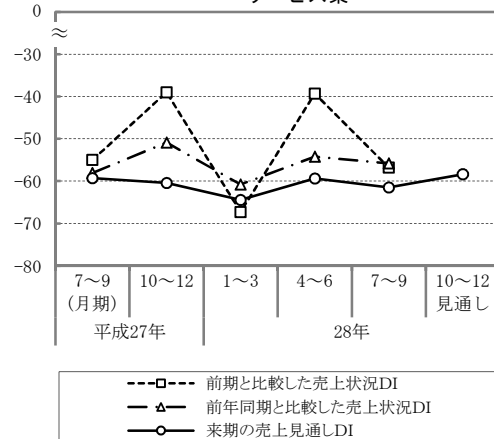
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)56.8で、前期(-39.3)に比べ、17.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)55.8で、前期(-54.2)に比べ、1.6ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)58.4で、前期における今期の売上見通し(-61.5)に比べ、3.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

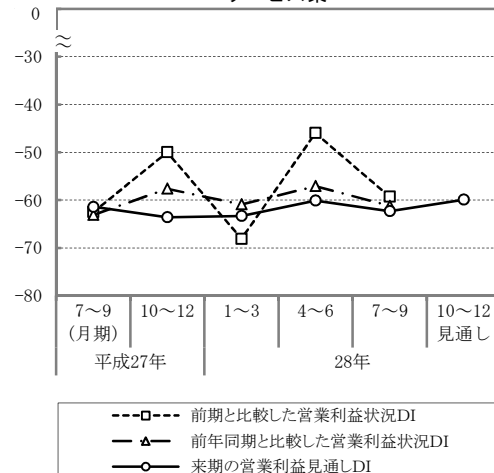
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)59.3で、前期(-46.0)に比べ、13.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)61.2で、前期(-57.1)に比べ、4.1ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)59.9で、前期における今期の営業利益見通し(-62.3)に比べ、2.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 3.3 で、前期(+ 3.4)に比べ、 0.1 ポイント「過剰」が縮小した。

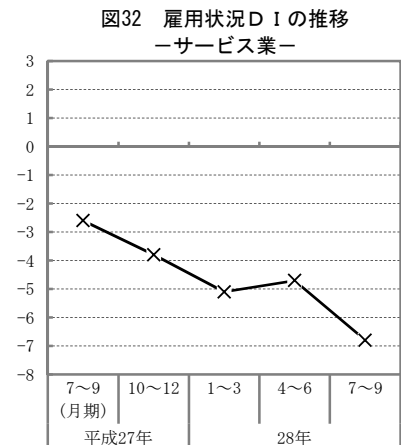
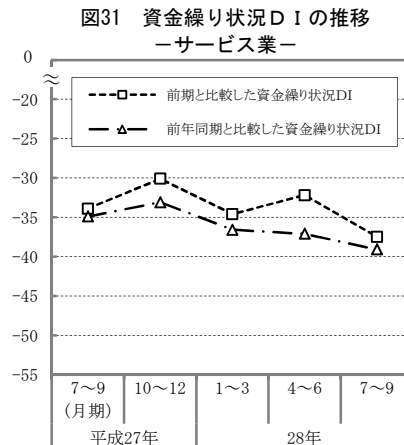
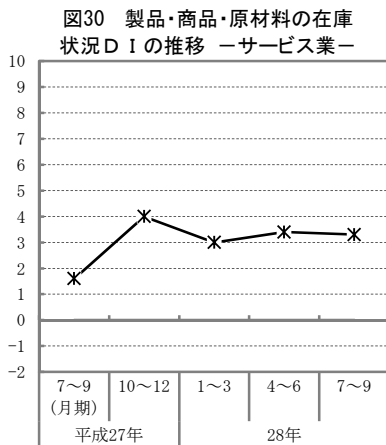
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 37.5 で、前期(- 32.2)に比べ、 5.3 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 39.1 で、前期(- 37.1)に比べ、 2.0 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 6.8 で、前期(- 4.7)に比べ、 2.1 ポイント「不足」が拡大した。



Ⅲ 営業収支

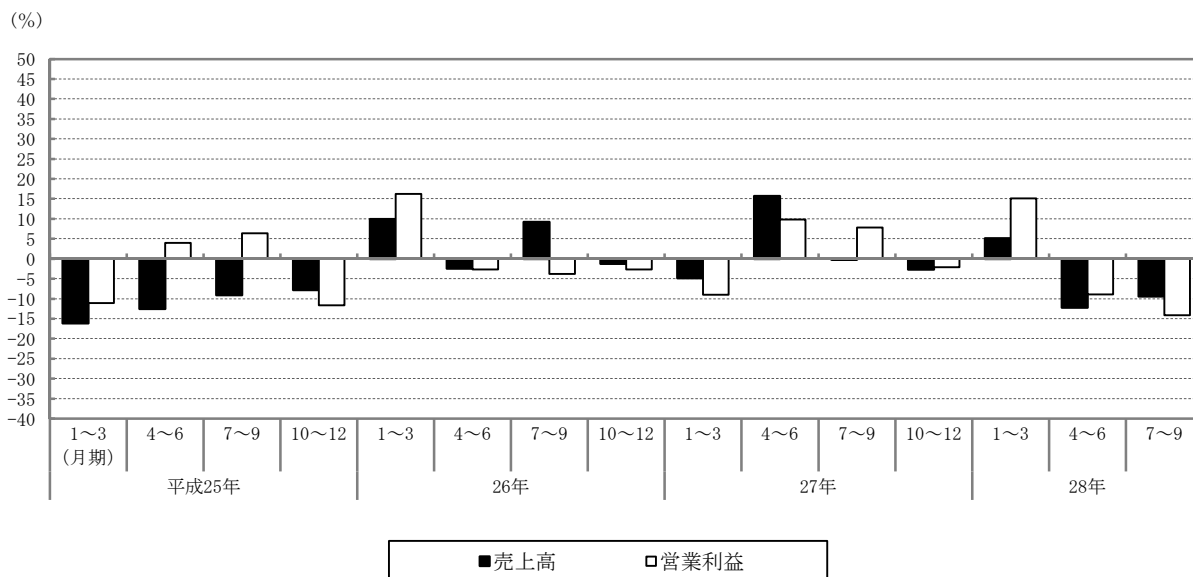
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は209万2000円で、これに対する費用は売上原価が66万2000円、営業費が85万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は58万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)9.4%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)14.1%で、2期連続で減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —製造業—

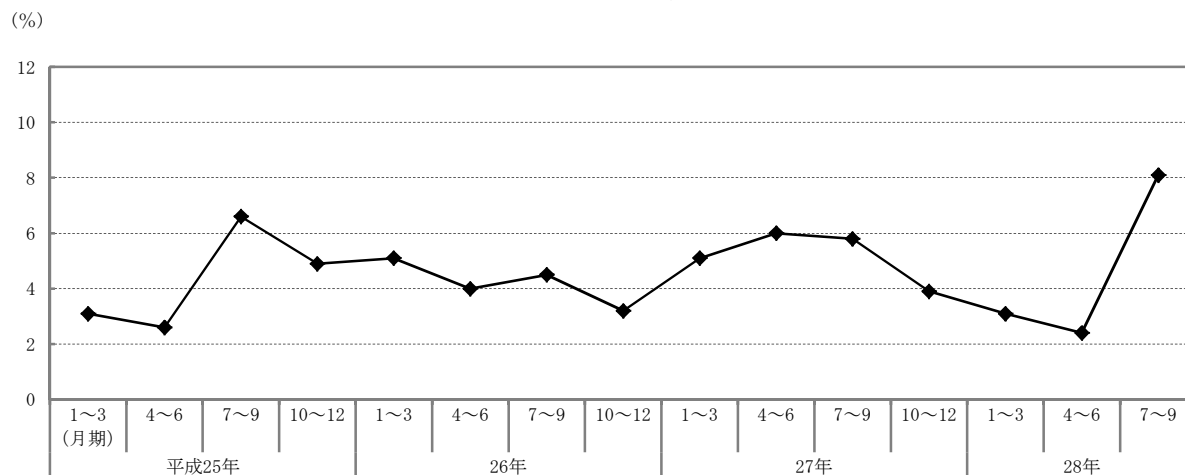


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は16万9000円で、前年同期(13万5000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は8.1%で、前年同期(5.8%)を2.3ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 —製造業—



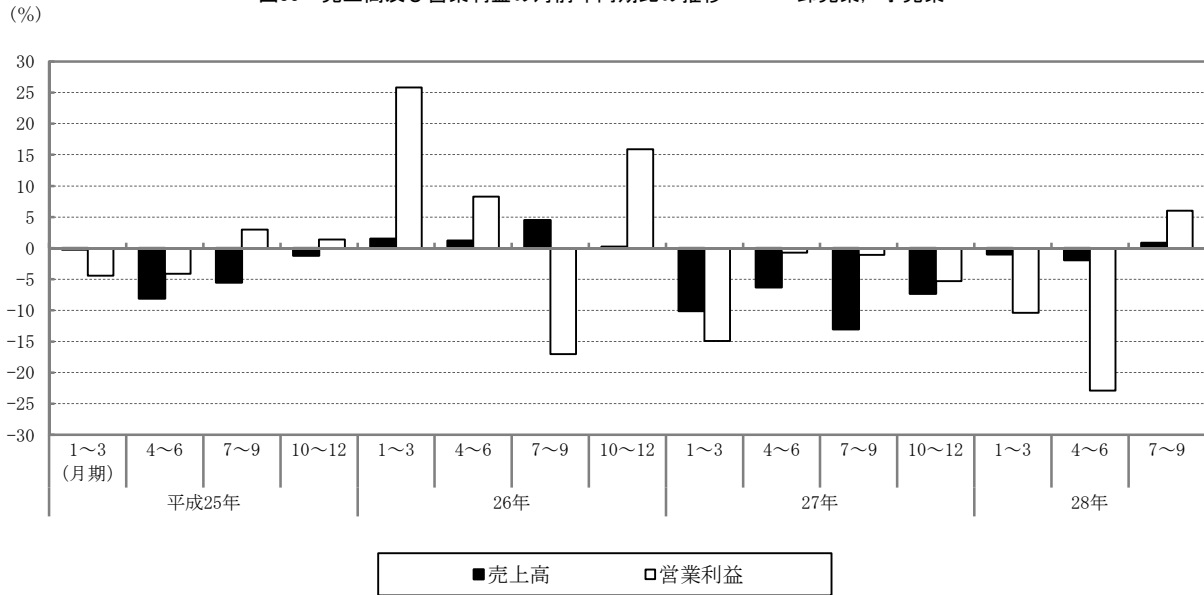
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は363万8000円で、これに対する費用は売上原価が249万4000円、営業費が75万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は38万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 0.8% で、7期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 6.0% で、7期ぶりに増加した。

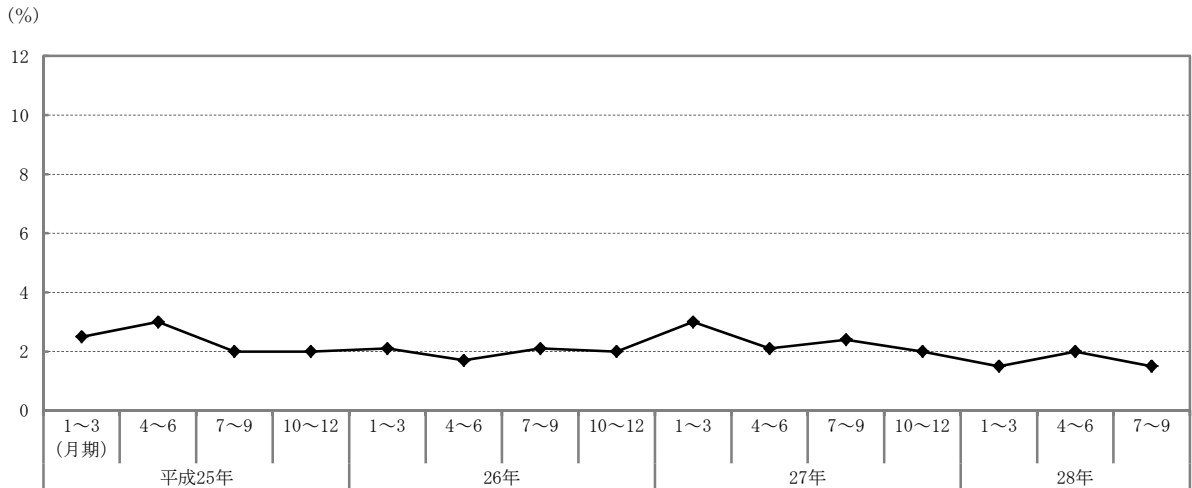
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万6000円で、前年同期(8万6000円)を下回った。また、設備投資率は 1.5% で、前年同期(2.4%)を 0.9 ポイント下回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー

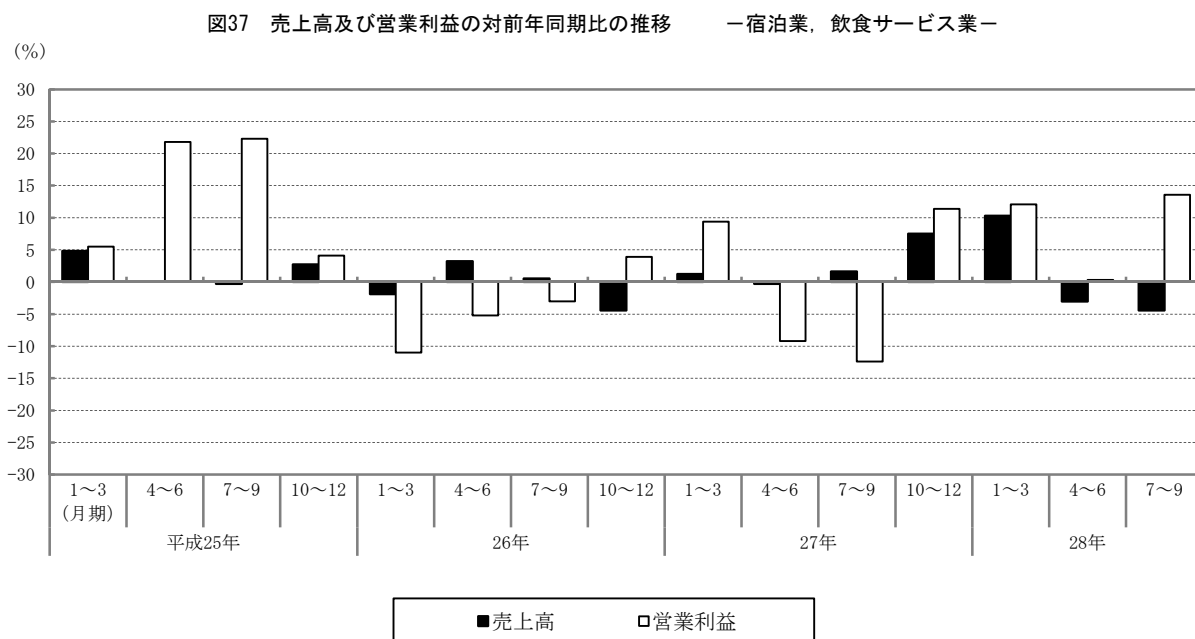


3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は210万7000円で、これに対する費用は売上原価が87万9000円、営業費が81万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は41万8000円となった。

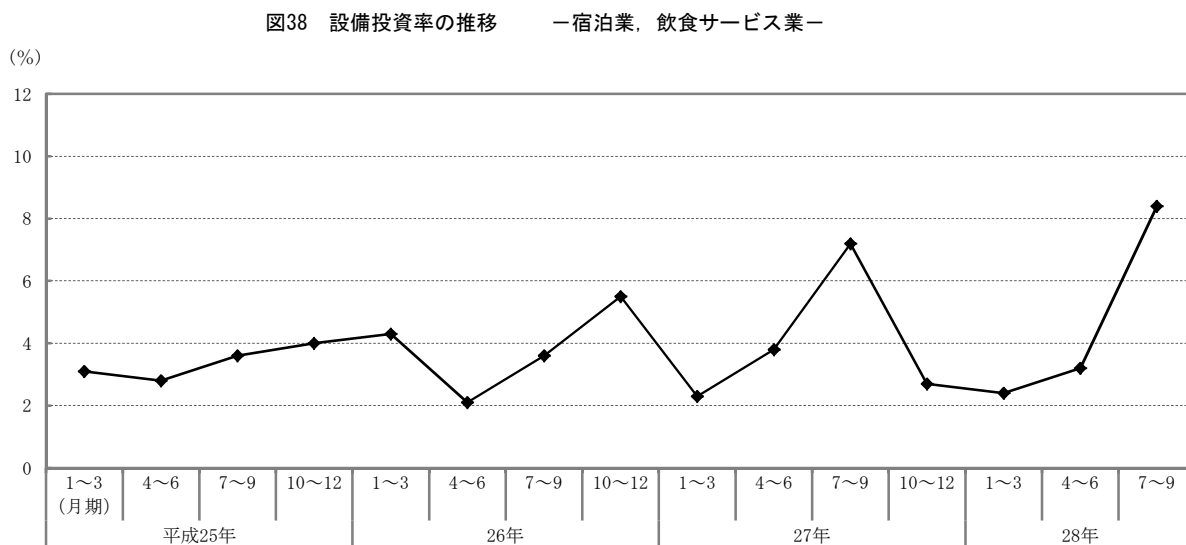
対前年同期比をみると、売上高は(-)4.4%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(+13.6%で、4期連続で増加した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は17万7000円で、前年同期(15万9000円)を上回った。

また、設備投資率は8.4%で、前年同期(7.2%)を1.2ポイント上回った。



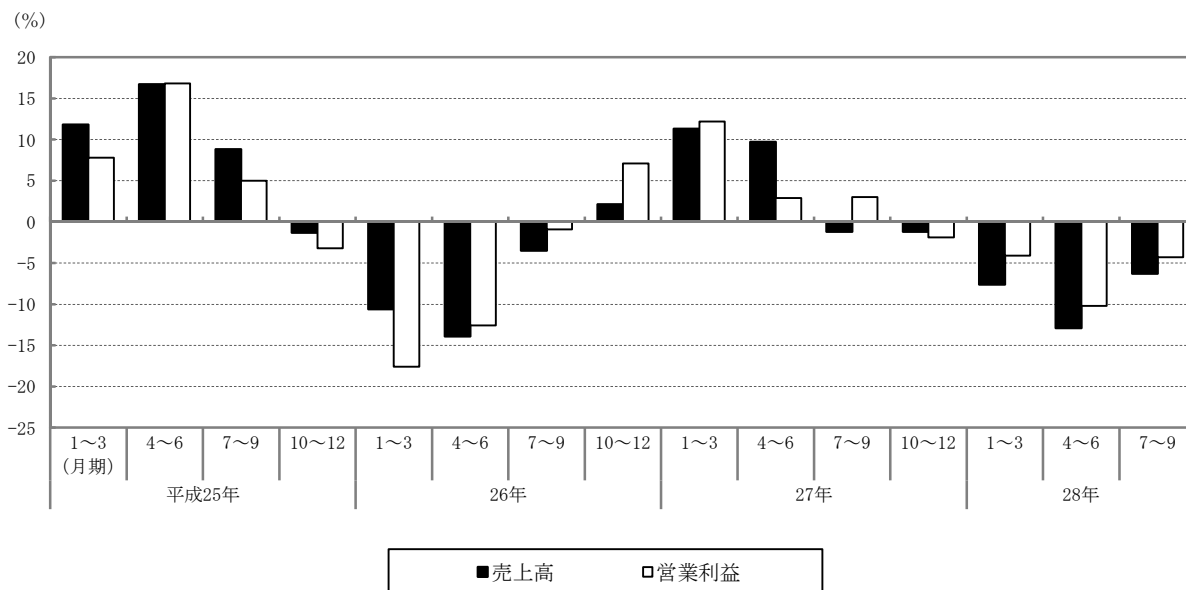
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は113万9000円で、これに対する費用は売上原価が17万7000円、営業費が53万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は42万7000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)6.3%で、5期連続で減少した。また、営業利益は(-)4.3%で、4期連続で減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は3万6000円で、前年同期(5万7000円)を下回った。また、設備投資率は3.2%で、前年同期(4.7%)を1.5ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

